

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第28回河内長野市地域公共交通会議
2 開催日時	平成27年10月30日(金) 午後2時から
3 開催場所	河内長野市役所 802会議室
4 会議の概要	(1) 平成26年度河内長野市地域公共交通会議決算報告について (2) 平成27年度河内長野市地域公共交通会議予算の補正について (3) 総合時刻表入りバスマップ及び企画乗車券PRポスターチラシについて (4) 公共交通に関する視察報告について(豊岡市、香芝市) (5) その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	1人
7 問い合わせ先	(担当課名) 都市づくり部 都市創生課 交通政策係 (内線540)
8 その他	

\* 同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

第28回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第28回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成27年10月30日(金) 午後2時00分～
開催場所	河内長野市役所 802会議室
公開・非公開の別 (非公開とした 場合はその理由)	公開
傍聴者	1人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成26年度河内長野市地域公共交通会議決算報告について</li> <li>(2) 平成27年度河内長野市地域公共交通会議予算の補正について</li> <li>(3) 総合時刻表入りバスマップ及び企画乗車券PRポスター、チラシについて</li> <li>(4) 公共交通に関する視察報告について(豊岡市、香芝市)</li> <li>(5) その他</li> </ul>
会議内容	別紙会議内容のとおり

## 第28回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	内容（要旨）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 第28回河内長野市地域公共交通会議開会の案内</li> <li>➤ 新委員の紹介と各委員の出欠状況の報告</li> <li>➤ 関係者として近畿大学経済学部新井准教授、高石市土木部駅周辺整備課大坂課長代理の紹介</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【議題1】平成26年度河内長野市地域公共交通会議決算報告について</div>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 資料1について説明。審議の結果、承認を得る。</li> </ul>
廣門委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 平成26年度河内長野市地域公共交通会議の歳入・歳出決算について、歳入・歳出の帳簿及び関係書類を審査したところ、全て適正に処理されている。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 以前から申し上げているように、千代田線の上限200円運賃など、事業効果によって経費が抑えられたにも関わらず、結果として予算規模が減ってしまうのは良くない。</li> <li>➤ 表面上は予算が縮減されているように見えるので、一定の効果があった分については、インセンティブとして次年度に新たな投資ができるような予算を構築することはできないか。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【議題2】平成27年度河内長野市地域公共交通会議予算の補正について</div>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 資料2について説明。審議の結果、承認を得る。</li> </ul>
若林委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 毎年、国の制度設計が見直されこともあり、また基本的に補助金については新たな事業の導入促進の側面があるので、今ある補助金が未来永劫続くとは限らないことを皆様に認識しておいていただきたい。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【議題3】総合時刻表入りバスマップ及び企画乗車券PRポスター、チラシについて</div>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 資料3について説明。</li> </ul>
廣門委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 文字が小さいので、はっきり見やすい文字にしていきたい。</li> </ul>
伊勢委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 天見駅は南天苑もあり観光客も多いと思うので、公共交通情報として掲載したほうが良いのでは。</li> </ul>

田中委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 電車とバスの乗り換えに要する時間を掲載できれば良いのでは。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 市民がどのように使うのかということを常に考えながら、今の形で良いのか検討したほうが良い。</li> <li>➤ 見出しの「地球にやさしく便利でお得」のキャッチコピーは、何にかかっているのかわかりづらい。使用目的を明確にしてデザインやキャッチコピーなどを検討していければ良い。</li> <li>➤ ページ数が多いので、インデックスをつけるべき。</li> <li>➤ 時刻表だけ載せているのでは使い勝手は良くないので、観光情報も含めたバス・電車の活用ガイドや乗り換え情報の入手方法の案内なども掲載してはどうか。</li> <li>➤ タイトルを市民公募にしてみてもどうか。</li> </ul>
岩井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 何年かごとに時刻は変わるものであり、永久的に使えないのはデメリット。</li> <li>➤ 不可能と思うが、各停留所ごとの時刻表があれば便利。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ダイヤ改正があった際に、上から時刻表を張り替えて使えるようにするのも一つの方法。</li> <li>➤ スマホでバスロケが利用できればもっと良いが、まだ検討中か。</li> </ul>
松内委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ダイヤ改正について、出発時刻は同じでも道路・交通状況によって恒常的に遅れが生じる場合などは途中の停留所の通過時刻を見直すこともあり、結果として年に1回以上のペースでダイヤを改正している。</li> <li>➤ スマホのバスロケについては、導入する方向で検討を進めており、利便性向上のためいろいろ研究しているところである。</li> </ul>
岩井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 基本的に公共交通を利用するのは、学生か高齢者が中心。高齢者となるとスマホが使えない人も多く、バスロケが導入されても利用できずメリットが少ないのではないか。</li> <li>➤ 高齢者に焦点をあてたサービスをもっと考えてもらえないか。</li> </ul>
松内委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 事業者の方向性としては、新たな事業を実施するよりも、利用者への割引特典などで利用促進を図っているため、新たなサービスの展開は難しい。</li> <li>➤ そのような中で、総合時刻表などを作成いただけるのは非常にありがたいので、しっかり協力していきたい。</li> <li>➤ 各停留所で確認できるバスロケがあり、過去南海バスでもあるエリアで試験的に導入した経緯があるが、コストが高く維持できなくなった。それに代わる新たな仕組みとしてスマホでのバスロケを検討している。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 岩井委員がおっしゃったような高齢者のためのバスのような限定的なサービスは続かない。また、一つの目的に対応するバスも成り立たない。</li> <li>➤ スマホでバスロケなど、若い方の利用機会を増やすような取り組みも重要。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 名称も含めて、総合時刻表へのご意見は11月中に頂戴したい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">【議題4】公共交通に関する視察報告について（豊岡市、香芝市）</div>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 資料4について説明。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 市民がどんな生活をしたいかというニーズにより移動の必要性が生じ、それに対応したサービスとして公共交通がある。豊岡市のように、無くなった公共交通の代わりに別の何かを走らせるという構図だけでは解決にならない。</li> <li>➤ 香芝市のように、点在するニーズに対して個々に対応しても赤字が増えるだけなので、バスをどう走らせるかということを考えるだけでなく、住民が移動する仕組みをつくるのが大事。</li> <li>➤ 河内長野市は、同伴者割引や千代田線上限200円運賃などによって移動を促進させ、消費活動を促すように取り組んできた。人の移動を促す仕組みをベースに置きながら、他市事例などを当てはめて考え、良い部分を抽出していくことが有効である。</li> <li>➤ 視察の際は、市民のニーズや高齢者の活動の変化、新たなコミュニティ活動の支援体制の有無などを聞けるとより参考になる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 香芝市への視察では全体の仕組みという観点も持っていたが、担当者からの話では、デマンドの導入に関しては、人の移動に関わる仕組みづくりという視点よりも、議会や市民からの根強い要望に応えるためという側面が大きかったと認識している。</li> </ul>
井戸委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 総合時刻表について、電車やバスの乗り換えに要する最大・最少の待ち時間を記載してはどうか。</li> <li>➤ 表紙に記載しているページ番号は、中面の各タイトル番号と合致していないので、インデックスの表示方法をもっと考えたほうが良い。</li> <li>➤ 時刻表をつけるのはダイヤ改正に対応できずもったいないので、クリアケースに入れるような形で、改正のたびに差し替えるほうが長く使いやすい。</li> <li>➤ 表紙をめくったときに自分の目的に合ったページが即座にわかるような目次がほしい。</li> </ul>
岩井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 香芝市の取り組みはテレビで拝見したが、事業者の効率と高齢者のニーズと経費の3つを考え、公共性を確保できれば、高齢者向けのような新たな交通モードを検討できるということか。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ その3つだけだと成り立たないので、今後の高齢化社会の中で、高齢者自身がどのように生活し、どのように活躍できるのかということ踏まえて、そのための移動手段を考えていく必要がある。</li> <li>➤ バスや電車だけを考えても解決しない。人口が減り、高齢者が移動しなくなり、バス利用者が減るので税金で補てんする、という構図では続かなくなる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 利用者を増やすだけでなく、高齢者を中心に、どのような活動ができるのかという仕組みづくりが必要。それらの支援のための移動手段として公共交通を考えていくべき。</li> <li>➤ 自動運転のクルマがあれば高齢者などでも移動できるが、一方で公共交通のようにみんなで乗り合うことが人とのつながりや生きがいづくりにつながるので、個々に移動するだけではいけない。</li> <li>➤ 河内長野市で取り組んでいる事例を他市へ発信されていることや他市の事例などを交通会議の場などで報告いただくことで、より客観的に見られるので、今後も積極的にお願いしたい。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【議題5】その他</b></p> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 資料5について説明。</li> <li>➤ 次回の交通会議は、平成28年の1月頃の開催を予定している。内容としては、国の補助金であるフィーダーに関することや交通不便地域である桐ヶ丘地域の住民によるくすまるの体験乗車などについて報告する予定。</li> </ul> <p>南海バス (吉岡氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 12月に南海電鉄がダイヤを改正することに伴い、南海バスもダイヤ改正を実施させていただくので、ご協力をお願いしたい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---